

第11回 金沢創造都市会議 総合テーマ「喫緊の課題 2021」

■ 開催日 2021年7月15日(木)・16日(金)

■ 会場 金沢ニューグランドホテル4階「金扇」

第1日目／7月15日(木)

13:00～13:10 開会挨拶、概要説明／福光 松太郎 (金沢創造都市会議開催委員会会長兼実行委員長)

13:10～14:40 セッション①「コロナ後の金沢都市戦略の展望～『金沢ふう』を極める」

パンデミックが、都市生活、働き方等に大きな影響を与え、既存の大都市都心の魅力が減少する中で、金沢の新次元の都市戦略は「金沢ふう」を極めることであろう。アーティスト・イン・金沢町家、新工芸振興センター、そして金沢21世紀美術館アネックスなどを事例に「金沢ふう」を極めるプランの提示を試みる。

座長・進行／福光 松太郎 (金沢創造都市会議開催委員会会長兼実行委員長)

パネリスト／佐々木 雅幸氏 (稲置学園理事、金沢星稜大学特任教授、文化庁文化創造アナリスト)

長谷川 祐子氏 (金沢21世紀美術館館長)

川本 敦久氏 (金沢卯辰山工芸工房館長)

三谷 充 (金沢経済同友会副代表幹事)

14:50～16:20 セッション②「『兼六園周辺文化の森』の深化と発信」

金沢は都心に広がる水と緑の空間に、江戸から令和に至る各時代の歴史的営みや様々な芸術や文化を集積させ「兼六園周辺文化の森」を育んできた。この類まれな都心をさらに深化させ、創造都市・金沢の核に、そして国内外で評価される文化の庭園に育ててゆきたい。その達成に我々が出来ることは何だろうか。

座長／砂塚 隆広 (金沢経済同友会代表幹事)

パネリスト／水野 一郎氏 (金沢工業大学教授、谷口吉郎・吉生記念金沢建築館館長)

岡 達哉氏 (金沢星稜大学教授)

馬場先 恵子氏 (金沢学院大学教授)

進行／鶴山 庄市 (金沢経済同友会副代表幹事)

16:30～18:00 セッション③「金沢の都心軸を考える～経済軸から文化軸へ」

中央資本による近代化を繰り返してきた金沢駅－武蔵－香林坊・片町間の都心軸は今後どう発展していくべきか。多様な機能が混在する回遊性のある街が目ざされている。都ホテル跡地や日銀跡地など要所の活用を含め、経済軸から文化軸へと転換をはかる金沢の都心軸について考える。

座長／浜崎 英明 (金沢経済同友会代表幹事)

パネリスト／大内 浩氏 (芝浦工業大学名誉教授)

竹内 申一氏 (金沢工業大学教授)

武部 勝氏 (エステック不動産投資顧問(株)代表取締役社長)

進行／米沢 寛 (金沢創造都市会議開催委員会実行副委員長)

第2日目／7月16日(金)

10:00～11:50 全体会議

進行／福光松太郎

大内 浩氏、佐々木雅幸氏、水野一郎氏、岡 達哉氏、竹内申一氏、馬場先恵子氏、武部 勝氏、長谷川祐子氏、浜崎英明、砂塚隆広、米沢 寛、鶴山庄市 (順不同)

11:50～12:00 課題の整理

12:00～12:05 閉会挨拶／米沢 寛 (金沢創造都市会議開催委員会実行副委員長)